



新型コロナウイルス感染拡大防止のための

援助活動中のお願い

堺市ファミリー・サポート・センター

日頃はファミリー・サポート・センター事業へのご理解、ご協力ありがとうございます。また援助活動においては大変お世話になっております。

10月に入り、心地よい秋風が吹く季節となりました。援助活動においては引き続き、新型コロナウイルス感染拡大防止にむけて「感染しない」「感染させない」よう、対策をとりながらの活動となります。併せて冬に向けて心配なのがインフルエンザの流行です。今後はより一層体調管理に留意いただき、ウイルスの感染拡大を防ぎながら、無理のない援助活動をお願いいたします。

日常生活では

- **日々、健康チェックをしましょう。**

毎日、検温をして体調管理をしましょう。発熱や風邪症状があるときは、援助をキャンセルしましょう。ご自身だけの体調だけでなく、ご家族についても同様の症状があるときは活動を控えてください。

- **手洗いや手指の消毒などをこまめにしましょう。**

家に帰ったら、まず手洗いをしましょう。むやみに顔、目、鼻、口をさわらないことも大切です。

- **マスクを着用しましょう。(咳エチケットの実施)**

症状がなくても、周囲に人がいる時はマスクを着用しましょう。(ただし、体調に応じて外しましょう)

- **3つの密(密閉・密集・密接)を避けましょう**

人との距離を取りましょう。体調が悪いときは外出を控えましょう。

援助活動中では

- **活動中はマスクを着用しましょう。**

預かりの援助だけでなく、送迎のみの援助の時もマスクを着用しましょう。

- **こまめに手洗い・換気をしましょう。**

子どもを預かるとき、最初に手洗いとアルコール消毒を子どもと一緒にします。

風の流れることができるように窓など開けて、部屋の換気をこまめに行います。

- **タオルを共有しないようにしましょう。**

依頼会員に子どもが使用するタオルの準備をお願いしてください。また子どもの飲み物の準備もお願いしましょう。

- **食事を提供するときは大皿盛りではなく、個人用の食器に盛り付けましょう。**

- **活動中に発熱等が見られた場合は、すぐに活動中止とします。**

活動前に依頼会員の緊急連絡先を確認しておき、子どもの体調が悪い場合はすぐに迎えに来てもらいましょう。

※この事業で加入している補償保険は、援助活動中においてけがや事故を被った場合に対する補償であり、新型コロナウイルス感染症は対象となりません。

※援助活動に不安や迷いがある場合は事務局にご相談ください。

※新型コロナウイルスを理由とした偏見が生じないようにするなど、子どもの人権に十分配慮をお願いします。

堺市ホームページから、日常生活に感染予防を定着させていく『堺スタイル』についてご覧になれます。